

# ゆたかな労働と 生活の場をめざして

発行: 社会福祉法人ときわ会 〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地  
URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ  
だより  
No. 475

あさやけ作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-4575
あさやけ第二作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-1564
サングリーン	小平市小川町 1-943 番地	TEL 042-345-1585
あさやけ風の台作業所	小平市小川町 1-411 番地	TEL 042-346-2167
共同ホームつくしんぼ	小平市小川町 1-944-30 番地	TEL 042-342-7550
共同ホームこげら	小平市上水南町 2-21-17 番地	TEL 042-325-8716
共同ホームサンライズ	小平市小川東町 5-2-11 番地	TEL 042-346-0472
地域生活支援センターあさやけ	小平市小川東町 4-2-1 番地	TEL 042-345-1741
	小平元気村おがわ東 1 階	
共同ホーム一歩	小平市花小金井 7-2-24 番地	TEL 042-349-0305
あさやけ風の作業所	小平市中島町 3-8 番地	TEL 042-349-2366
共同ホームはやぶさ	小平市小川町 1-497-13 番地	TEL 042-313-6269
共同ホームさらさ	小平市小川東町 5-2-12-1 番地	TEL 042-313-2217



作業所の発行で、今年けあ城のいこいの村池沼に行ってきた。生久の大仏、森のイバランド、メロンの森、大洗アケアパークなどをめぐり、旅行を満喫してきました。

木陰でひと休み

あさやけ作業所

一九九八年の介護等体験から、武蔵野美術大学の学生たちを受け入れていただき二十二年が経ちました。一九九九年、私は学部の第一期生として介護等体験に参加しました。一九九九年の介護等体験の翌年から現在に至るまで、当時の実習先で造形ワークショップの活動を行うようになり、この二十二年、私自身も介護等体験の成長とともに歩んできました。二〇一〇年には、葉山登先生より「あさやけサマースクール」クラスの担当を引き継ぎ、私とあさやけのみなさんとの関係もスタートしました。

「利用者の方が主役」を間近で学ばせていただくこと

武蔵野美術大学教職課程非常勤講師

川本 雅子

昨年、あさやけの四十周年記念式典にご招待いただきました。利用者の方と職員の方が、ステージ上で「世界に一つだけの花」を一緒に歌っている姿を見て、なんだか臉が熱くなりました。作業所に通っていらつしやる利用者の方とは、年に一度、実習のオリエンテーションの際に少しお会いするくらいで、直接的な関わりがあるわけでは無いのに、この感じは何なのだろうと考えながら、目の前の情景に見入りました。ステージには、いつも実習でご指導いただき職員の方もいらつしやいました。あくまで縁の下の力持ちとなり、表には出ず、彼らの隣りに寄り添い、一緒に笑っていらつ

しゃいました。のりのりで歌っている人、棒立ちでマイクを必死に持って緊張している人。マイペースな人。彼らの姿は、それぞれにその人らしく生き生きとした姿に思えました。この場ではこうしなさいという道標を示すわけではなく、そのままの自分でいいよというような、そんな雰囲気伝わってきました。まさに四十周年記念式典は、利用者の方が主役でした。このような晴れの舞台では、作業所の理念などを前面に押し出すことも出来たのかもしれませんが。しかし日常の作業所の姿がそのまま舞台上に現れているようでは、感動を覚えませんでした。その後の式典では、「障がいのある方にとって生きやすい環境づくりのために、これからの若い職員が、これからの在り方を考え、勉強を重ねることにある」と加えられ、式は終わりました。「利用者の方が主役」とは、当たり前ではあるけれど、それを日常にするには、一人ひとりの意識がとても大切です。このような作業所で武蔵美生たちが、二十二年間、学ばせていただいていることを、とても有難く感じました。おそらく私が感じたように学生たちも、このあさやけならではの雰囲気を感じていると思えます。

仲間紹介

ひとりひとりが太陽



あさやけでの仕事・生活は  
始まったばかり

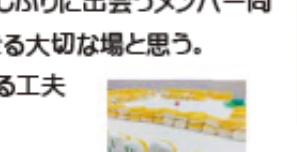
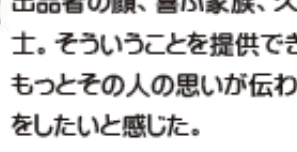
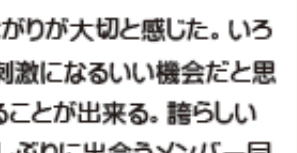
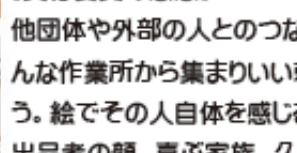
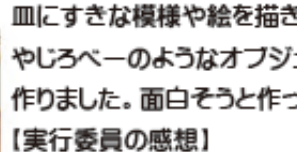
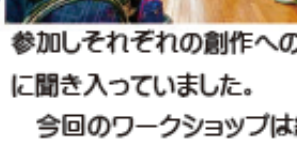
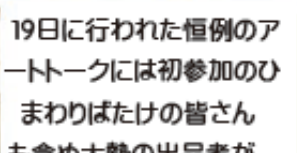
森川 有彩さん  
(あさやけ鷹の台作業所)



森川有彩さんは入所して二年目のフレッシュな仲間です。もうすっかり鷹の台作業所に慣れて、みんなのムードメーカーです。仕事では下請け班に所属し検品という重要な仕事も任されています。「〇〇さん、これもらいます」「次は何をしますか。」と二階の作業室では森川さんの声がいつも聞こえます。スピードも速く意欲も十分なのですが、時々階段を走るので「落ち着いて」と声をかけられることもあります。でも森川さんがいることで仕事に活気が出てくることは間違いなしです。毎週木曜日は足湯掃除のメンバーとしてこもればの足湯へ行きます。高圧洗浄機で浴槽を丁寧に洗うのが森川さんの仕事ですが、これはとても力のいる難しい仕事なのです。そのほか落ち葉を掃いたりテーブルを拭いたり休憩することなく動き、ここでも森川さんの力が発揮されています。休憩時間はCDをかけて大きな声で歌い踊ります。とても上手な

ので聞きはれてしまいます。それから自慢のものまで仲間や職員に話しかけてきます。得意なのはミッキー・マウスのものまね、「こんにちははくミッキーですー」とニコニコ顔で話しかけてきます。ひとしきりみんなと楽しんだあと、今度は二階で静かに絵を描き始めます。森川さんの絵は今年のアートフェスティバルではクローズアップとして取り上げられました。絵を描くことが好きで毎日描いています。あと森川さんが好きなのは宝塚歌劇団、雪組がお気に入りです。たまに公演を見に行くとのことで、舞台を見てたくさんエネルギーをもらっているのですね。

森川さんにこれからの夢をきくと「お仕事がんばりますー」のあと「勇氣」「自信」と答えがありました。元気いっぱい森川さんにもいろいろ苦手なことがあるようです。大丈夫、まだ始まったばかりです。これからいろいろな森川さんを見せてくださいな。



出品者数は129人、作品数は239人でした。今回展では、新しく「ひまわりばたけ」という2018年に開設した通所生活介護施設の皆さんも加わりぎやかになりました。

## アートフェスティバル2019

2019年7月17日～7月21日  
於 ルネこだいら・CAZECAFE'なかもち

### ご来場ありがとうございました

各施設の自主製品の販売は総計で220,000円を超える売り上げがありました。毎回楽しみに買いに来る方もいて好評でした。  
なかもちカフェでも各所からの作品19点を展示。常連客をはじめ100名近くの方が来場しました。

今回で6回目の開催となったあさやけアートフェスティバルは入場者約480人。出品者はもちろん、市内外の施設、グループホーム、重度障害児の学習を支援するグループ、特別支援学校教員、美術団体関係者など多くの方々に観に来ていただきました。小林小平市長も来られました。また、開催中、大、中ホールなどで行われた他の催し物に来た人たちが多数来場し「感動しました。上手でビックリ」と口々に。

各施設で毎回注目するメンバーを選んで紹介する「クロスアップ」のコーナーでは大好きな飼犬の物語を紙芝居にした作品や同じ文字や記号を描き続けた作品を天井から吊り下げたりと回を重ねるごとに様々な工夫があり楽しい展示になりました。また、粘土の立体作品や樹木に様々なメッセージを付けた作品などそれぞれの施設で工夫があり全体として新鮮で楽しい空間となりました。合同作品も多くEVホールに大作が並び、特に支援センターの「令和」は圧巻でした。



### 来場者のアンケートから

- 作品の発表の場があるのは、利用者さんのモチベーションも上がると思いき、保護者も含め沢山のの人に観てもらえるので良いと思います。
- とても良いと思います。皆様の日頃の努力の成果が現れていたと思いました。作品解説も、皆の個性がでて良かったです。
- 利用者さん達の内に秘めた思いを見ることができて再発見できた気がします。
- 毎日見ている西武線の電車がこんなにカラフルに表現されていて感動しました。すてきな感性をお持ちですね。
- どれも良い作品でしたが、あさやけ作業所の紙粘土？を使い、ダンボールを切ったものに貼りつけていた作品は、粘土の触感も楽しみながら、自由にそして真剣に作っている様子が浮かんで来て良かったです。
- 初めて来ましたが、日常のほんの一部分を感じられる作品が沢山ありました。その一部でも知る事が出来て嬉しかったです。
- 皆さんの個性が生きていて素敵だった。時間帯がお昼だったので、人が少なかったが、出展者の方々と話す機会があったらと思った。
- 様々な方の視点の作品が見られて、大変面白いです。

- どの作品からも思いやメッセージを受けとり、心に響きました。表現することも、受けとることも、これからの活力につながると思います。是非、続けていただきたいと思います。
- いつもの楽しみにしています。描き手の紹介もあって、どんな方なのか、想像することができます。みなさん詩人ですね。
- 会場にあるすべての作品に感動しました。そして、あさやけさんの仲間たちでしょうが、障がいのある人達がこうして一緒に会場で作品に見入って感動する「空気感」がとてもステキなことだと感じました。
- ユニークな発想が見られ、楽しい展示会だとも思います。
- 個性の多様性を知らしめる意味がとても良いハッとさせる表現（言葉・色づかい・技法）がいくつもあって、とても刺激になる。可能性の追求という意味でも good です。
- いつも新鮮な視点ももらえて楽しみにしています。継続して見る楽しさもあります。
- 絵画は色彩が大変豊かで、作者の皆さまの感性の豊かさがあふれているように表現されていると感じられた。
- 地元でやってくださるので見に来やすい楽しい展示会です。楽しい絵や気に入った絵を見つけるのが楽しみです。
- 絵画だけでなく、詩や模型もあって様々な表現方法があるのだと思った。私も作品を出してみたいと思った。
- どのようなアート活動をされているのかということを知れるし、見ていて楽しい。たまにギャラリーなどで障害者の方のアート展などを見かけるが、自分にはとてもまねできない表現があったり、圧倒されるものも多く、今回の展示もとても楽しかった。

### 映画「星に語りて」上映会に、確かな手応え！



監督と俳優さんのトークショー

7月19日の金曜日、ルネ小平レセプションホールにて、3回に分けて、映画「星に語りて～Starry Sky～」の上映を行いました。あまり天気はよくありませんでしたが、約150名の方が来てくれました。途中のトークショーでは、松本 勲監督、俳優の飯田まささんと（石川五郎役）が来てくれて会場も盛り上がりました。中には、「私は福祉に関係ない、単なる映画好きで、ふらっと寄ってみました、映画の作品としても本当に素晴らしかったです！」といった感想も聞かれました！

これからも上映運動を市内の公民館等を中心に行っていきます。よろしくお祈りします。

あさやけ映画実行委員会 実行委員長 小林雅仁

### 今年も夏まつり開催！

サングリーン（就労継続支援B型・就労移行）

今年もサングリーンの夏まつりは盛況でした。

例年より開始時間を少し早くスタート。地域の方に作業所の雰囲気を見ていただくようと普段の作業の様子などを動画にして流し、室内には喫茶コーナーを設け、涼しい部屋で飲み物やお菓子を楽しんでいただきました。

子供コーナーでは武蔵野美術大学の学生さんによる手作り輪投げやうちわ作り、おもちゃの景品がつくビンゴ大会、カブトムシ配布など、たくさんのお子様に来て楽しんでいました。抽選会では作業所の商品を詰め合わせた豪華景品がつき、チラシについた抽選券を片手に、当たりの出る大盛り上がりを見せ、最後の景品になると、白熱のじゃんけん大会が繰り広げられました。模擬店ではビールやジュースを片手に、揚げ物やフルーツ、チヂミ、焼きそば、枝豆など、出来立てに誘われて、何度も買いに来られた方もいらっしゃいました。

夏まつり開始直前に雨が降り心配されましたが、おまつりが始まると晴れ上がり、利用者も地域の方も楽しく交流できました。



### 夏の強い日差しのなかでしたが、元気にがんばりました

～第38回 あさやけサマースクール～

今年も7月29日（月）から8月2日（金）の5日間、地域の社会資源として作業所を開放し、市内に在学、在住の障がいのある中学生、高校生を対象にサマースクールの取り組みを行いました。21名の生徒さんが参加し、特別支援学校・特別支援学校の先生方、ボランティアの方々、介護体験実習の学生、あさやけの職員といっしょに仕事体験（紙すき、ダイレクトメールの封入やバネの組み立て作業、ふきんづくり、製菓シフォンケーキづくり）、創作活動（武蔵野美術大学の学生さん20名が実習として参加し、2班に分かれてそれぞれのグループが企画した取り組み）、レクリエーション（プール・太鼓演奏・ポッチャ）、川遊びとバーベキューなど盛りだくさんの内容で、楽しい5日間を過ごしました。



創作活動



ポッチャ



エビカニクス（ケロポンズ）

### 夏休みのお楽しみはサマースクール

今年も春が過ぎ、太陽が眩しくなる頃、娘の「川遊び」リクエストコールが始まりました。家では川遊びに連れ出すことがままならず、夏休み中のお楽しみのひとつとして、中学・高校の6年間で何と4回もサマースクールに参加させていただきました。スクールの5日間でお仕事は勿論、レク活動（プール・創作・太鼓・ポッチャ）、川遊びと盛り沢山の内容に大満足でした。室内で食べる食事でも給食でもお弁当でもなく、大勢で食べる屋外のバーベキューは娘にとって特別のようで、川で遊んだ後のスイカはとびきり美味しく、何回もお代わりをさせていただくほどお気に入りのようでした。

お仕事の方も川遊びを励みに集中して取り組むことができ、ゆっくりですが昨年に比べて成長しているご報告に親としてほっと一安心、こだわりの強い娘を温かく見守りたくさんのご指導をいただき本当にありがとうございました。

猛暑のなか、職員の皆様をはじめ先生方、学生さん、親の会など大勢の皆様のおかげで、子ども達がこんなにも素晴らしい経験をさせていただけることに感謝の気持ちで一杯です。来年もまたサマースクールが子ども達の楽しい夏休みの思い出になりますようお願いしております。小平に住み続けてよかった！と改めて幸せを感じている我が家です。

田無特別支援学校3年 吉田奈央 母 幸子

私たちは障がいのある人たちが働き生活できる地域をめざしています

いろいろ模擬店

**第15回**

**KODAIRAわいわいバザール**

いつ：2019年10月13日（日）11:00～15:00  
10月14日（月・祝）10:00～14:00

場所：都立小平特別支援学校  
（西武国分寺線・拜島線 小川駅 西口より徒歩5分）  
車での来場はできません

古着

おもちゃ  
カバン

日用品・雑貨……

古本

お祭り広場で催しあります！

※小平特別支援学校への訪問い合わせはできません

KODAIRAわいわいバザール実行委員会（あさやけ第二作業所）  
TEL:042-345-1564 〒187-0032 小平市小川町2-1159  
主催：KODAIRAわいわいバザール実行委員会 後援：小平市・小平市社会福祉協議会  
協賛：小平市をつなぐ親の会・小平残障不自由児者父母の会

廃品回収のお知らせ

7月の廃品回収の回収量は17,042kgでした。内訳は新聞12,520kg、雑誌・ダンボール4,552kgです。収益は368,098円でした。

**次回は10月19日（土）が回収日です。**

雨天の場合は中止とさせていただきます。